

薬剤師になるための成長過程（4年～6年）の評価に用いるルーブリック

【安全管理】

スタンダード

患者に不利益をもたらさないように自ら考えて行動する。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|--------------------------------|---|---|---|
| 他の医療スタッフと協働して、主体的に安全管理を実践している。 | 医療過誤（調剤過誤を含む）の要因を把握し、問題点を抽出して医療スタッフ間で情報を共有している。 | 法的規制を受けている医薬品の適切な管理ができ、また、医療事故の事例を提示し、それに関連する情報を抽出している。 | 法的規制を受けている医薬品を列挙し、適切な医療を実施しなければ、患者に不利益を生じることを知っている。 |

【社会保障制度と薬剤師の関わり】

スタンダード

薬剤師として社会保障制度に関わる資源の確保と分配に適切に関わる。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|-------------------------|---|---|--|
| 薬剤師として社会資源の有効活用を実践している。 | 薬剤師が関わる社会資源を有効活用するために、それらの情報を人的、物的、金銭的資源の観点で整理している。 | 薬剤師が関わる社会保障制度として、医療保険だけでなく、介護保険、年金などの情報を収集している。 | 薬剤師の行う保険調剤は、医療保険制度に基づいて行われていることを知っている。 |

【情報の収集と活用・啓発】

スタンダード

薬物療法に関する情報を適切に収集・活用するとともに、社会に必要な情報を発信する。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|---|---|-------------------------------|----------------------------------|
| 薬物療法に関する治療の有効性や安全性、医薬品の品質、健康の維持増進に関することなどの全ての情報を収集し、社会及び医療関係者に対して確実かつ適切に発信している。 | 収集した情報を吟味・加工し、必要な情報を医療・介護関係者に対して提供している。 | 医薬品に係わる情報の必要性を考慮し、それらを収集している。 | 医薬品の有効かつ安全な使用には情報が必要であることを知っている。 |

【薬剤の調製】

スタンダード

患者に使用することを目的として、正確かつ安全に薬剤を調製する。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|--|--|-----------------------------------|------------------------|
| 患者個々の状態を把握し、処方内容がその患者に対して適切であることを確認した上で、規則に基づき、薬剤を正確かつ安全に調製（調剤）している。さらに、それら処方せんに従って調製（調剤）された薬剤について監査し、問題がある場合などは代替案などを提案して、適正な使用に貢献している。 | 多様な処方せんについて、規則に基づき、薬剤を正確かつ安全に調製（調剤）している。また、処方せんを監査すること、さらにそれら処方せんに従って調製（調剤）された薬剤について監査することを通して、適正な使用に関わっている。 | 多様な処方せんについて、規則に基づき、薬剤を調製（調剤）している。 | 処方せんに基づく調剤の基本事項を知っている。 |

【無菌操作】

スタンダード

患者や医療従事者の感染制御を目的として、無菌操作を正確かつ安全に実施する。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|---|---------------------------------------|------------------------------------|--|
| 患者や医療従事者の感染制御を意識し、無菌操作を周辺環境にも配慮した上で、正確かつ安全に実施している。また、日々の省察から、作業環境の改善にも関わっている。 | 患者や医療従事者の感染制御を意識し、無菌操作を正確かつ安全に実施している。 | 感染制御のための無菌操作を、使用機材や作業環境を整えて実施している。 | 清潔な環境での薬剤の調製や患者対応が、感染の広がりや重篤化を抑えるために必要であることを知っている。 |

【評価】

スタンダード

薬物療法において評価を適切に実践する。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|--------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 薬物療法を実践する過程での患者の状態変化を適宜評価している。 | 薬物療法を実践する過程において収集した情報から患者の状態を評価している。 | 患者の状態を把握するための適切な情報を収集している。 | 患者の状態を知らなければ薬物療法を実施できないことを知っている。 |

【処方設計支援】

スタンダード

処方設計やセルフメディケーションを支援する。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|--|--|--|----------------------------------|
| 薬物療法に関わる情報の評価に基づいて、適切に処方設計を行ない、その情報を他の医療者に提案し、セルフメディケーションにおいては患者と共有し、実践している。 | 収集した情報から患者の状態を評価し、それに基づいて、より良い薬物療法（セルフメディケーションを含む）のための処方設計に関与している。 | 患者の情報を収集し、状態を把握した上で、適切な薬物療法に向けて処方进行评估している。 | 重要な疾患に対する標準的な薬物療法とその処方について知っている。 |

【服薬支援】

スタンダード

薬物療法におけるアドヒアランスの向上に努める。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|---|---|-----------------------------|---------------------------|
| 服薬などの薬物使用における患者個々の問題を抽出・理解し、患者が自ら関わることで、より良い薬物療法につながるよう患者支援をしている。 | 患者個々の問題点を抽出し、アドヒアランスとの関係性を考慮し、その向上につながる行動をしている。 | アドヒアランスに関連する患者個々の情報を収集している。 | 薬物療法におけるアドヒアランスの意味を知っている。 |

【地域連携】

スタンダード

医療関連の多職種や地域住民と連携・協働し、患者や生活者の医療・介護・生活の総合的な支援をする。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|--|---|--|---|
| 医療・介護・福祉等の地域リソースを把握し、医療関連の多職種や他の専門職、さらに地域住民と連携、協働することで患者や生活者に最適な支援体制を構築している。 | 医療・介護・福祉関連の地域リソースに関する情報を収集し、患者や生活者を支援するために関わる専門職との関係の構築に関わっている。 | 医療・介護・福祉関連の地域リソースに関する情報を収集し、専門職との関わりを整理している。 | 患者や生活者を地域で見守るためには多職種との連携が必要であることを知っている。 |

【医療倫理】

スタンダード

患者中心の医療とは何か、常に考えて行動し、そして自ら振り返る。

| 4 キャップストーン | 3 マイルストーン | 2 マイルストーン | 1 ベンチマーク |
|--|-------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 人それぞれの人生の有り様、医療の目指すものなどを常に考え、日々の活動を深く省察している。 | 患者、そして家族の思いを考慮し、自らの行動を省察している。 | 患者、そして家族の思いを考慮して行動している。 | 薬剤師として、患者の立場に立って考えることの重要性を知っている。 |